

平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報													
位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1~2個記入してください。													
事務事業名	母子・父子・寡婦福祉事業費		補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計		款	3	
担当部	保健福祉部	担当課	こども課		担当係	支援係	係	作成者	菊地	内線(電話番号)	1331	シート作成日	H30.6.7
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 常総市子ども・子育て支援事業計画)		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称:)										

2 事務事業の目的												
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か?→ ②一方で、「現状や課題」はどうか?→ ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。												
現状課題	発足当時は配偶者死亡による母子の会員が大半だったが現在は自己都合により母子になる方が多く、若年者の母が増加傾向であるため、対象の子も乳幼児が多くなっている。その一方で母子寡婦福祉会の入会は減少傾向にある。ニーズに合わせた支援や参加しやすい取り組みを考えていく必要がある。		誰・何を対象に 市内に住所を有する母子家庭・父子家庭及び寡婦家庭		どのような方法・手順で ひとり親家庭を対象に親子の集い等を実施(親子の集い・チャレンジ教室・クリスマス会・新入学児入学お祝会の開催)		望ましい状態 ひとり親家庭相互の交流と親子のふれあいの機会を提供することにより、孤立感、生活への不安感の解消につなげていく。研修会やセミナー等の参加を促し、他市町村の方との交流(情報共有)を図れるようにする。また、充実した事業となるように、福祉と協力しながら支援活動を継続的にやっていく。					

3 事務事業の主たる成果指標												
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。												
指標名	単位	目標値	目標年次	平成	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)						
						福祉の向上を図る目的の事業のため、成果目標は設定できません。						

4 事務事業の実績 ㊦												
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。												
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	業務名				業務名				業務名			
	活動量				活動量				活動量			
事務事業を構成する主な業務	① 親子の集い 春夏各1回(大子おやき学校、ディズニースー)計画・参加 2回 ② チャレンジ教室(親子工作)計画・開催 1回 ③ 親子おたのしみ会での交流計画・開催 1回 ④ 新年会交流計画・開催 1回 ⑤ 親子イチゴ狩り計画・開催 1回 ⑥ 小学校に入学する児童対象の新入学お祝会の計画・開催 1回 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫				① 若年母子セミナー受講に関すること 1回 ② 親子の集い 春夏各1回(上野動物園、ディズニースーランド)計画・参加 2回 ③ チャレンジ教室(親子でうどん作り)計画・開催 1回 ④ ふくしまつりイベント計画準備・参加 1回 ⑤ クリスマス会での親子の交流計画・開催 1回 ⑥ 新年会交流計画・開催 1回 ⑦ 親子おたのしみ会での交流計画・開催 1回 ⑧ 親子イチゴ狩り計画 1回 ⑨ 小学校に入学する児童対象の新入学お祝会の計画・開催 1回 ⑩ ⑪ ⑫				① 親子の集い 春夏各1回(大子おやき学校、ディズニースーランド)計画・参加 2回 ② チャレンジ教室(親子で染物)計画・開催 2回 ③ クリスマス会での親子の交流計画・開催 1回 ④ 小学校に入学する児童対象の新入学お祝会の計画・開催 1回 ⑤ 若年母子セミナー受講に関すること 1回 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫			
	目標値に対する実績値				目標値に対する実績値				目標値に対する実績値			
決算額	計	399,720 円	内訳	特定財源 0 円 一般財源 399,720 円	計	372,120 円	内訳	特定財源 0 円 一般財源 372,120 円	計	376,120 円	内訳	特定財源 0 円 一般財源 376,120 円
	(住民一人あたりの行政コスト) 6 円				(住民一人あたりの行政コスト) 6 円				(住民一人あたりの行政コスト) 6 円			

5 担当者評価 ㊧												
実施したことによる成果や問題点を記入してください。												
成果	目標は設定していない	成果内容	広報等での案内や参加者からの声等で周知もされてきており、行事やイベントの参加率は内容によっては増加傾向にある。									
問題点	母子寡婦福祉会の入会する会員数は減少傾向にある。ニーズに合わせた支援や参加しやすい取り組みを考えていく必要がある。福祉会は自主財源もあるため、市としては自立運営ができるまでの支援と考えているが、若い世代の会員数が少ないため、当面は、市の継続的な支援が必要である。											

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨												
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。												
事務事業の方向性												
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止												
評価理由	母子・父子家庭への支援は、まだまだ必要と考えられるので、現行どおりとする。											

7 実施計画 ㊩												
今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。												
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度			
事業内容	●親子の集い計画・参加(年間2回) ●チャレンジ教室計画・開催 ●茨城県母子寡婦福祉大会参加 ●親子でのイベント等交流の場の計画・提供 ●小学校入学児童対象の新入学お祝い会での地域での交流の場の提供・開催 ●イベント参加時のアンケート				●親子の集い計画・参加(年間2回) ●チャレンジ教室計画・開催 ●茨城県母子寡婦福祉大会参加 ●親子でのイベント等交流の場の計画・提供 ●小学校入学児童対象の新入学お祝い会での地域での交流の場の提供・開催 ●イベント参加時のアンケート				●親子の集い計画・参加(年間2回) ●チャレンジ教室計画・開催 ●茨城県母子寡婦福祉大会参加 ●親子でのイベント等交流の場の計画・提供 ●小学校入学児童対象の新入学お祝い会での地域での交流の場の提供・開催 ●イベント参加時のアンケート			
予算額	計	354 千円		歳出	計	380 千円		歳出	計	380 千円		
	特定財源	0 千円			特定財源	0 千円			特定財源	0 千円		
	歳入	一般財源	354 千円		歳入	一般財源	380 千円		歳入	一般財源	380 千円	
	計	354 千円			計	380 千円			計	380 千円		

8 財務アドバイザーの見解												
『常総市財政健全化計画』では、平成29~31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。												

9 行政改革懇談会(市民)の意見												
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。現行の予算内で充実・発展させ、最大の効果が得られるよう期待する。												

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪												
事務事業の方向性												
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止												
評価理由	母子・父子家庭への支援については、対象家庭の親睦を深め孤立化を防ぎ、福祉の増進を図ることを目的としているが、今後については、費用対効果を最大限に生かせるように常に事業内容の改善を図るべきと考える。											

11 事務事業の改善理由 ㊫												
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。												
事業内容	利用者によるアンケートを実施し、乳幼児から、小学校、中学校の子を持つひとり親世帯が、どのようなイベント参加や支援等を求めているかを把握しながら偏りなく幅広い対象者の方々が参加できる内容を福祉と協力し行う。											